

令和8年度の子育て・教育関連の主な事業(第3期廿日市市教育大綱(案)基本方針別)

※令和8年度の本市が実施する取組のうち、子育て・教育関連の主な事業を中心に記載しています。㊦は「新規事業」を、㊧は今までの事業を拡充したことを表しています。

《基本方針①》

みんなでつながり、こどもの育ちを支えます

こどもは周りの大人に育てられるだけでなく、自分の力で学び、感じ、考えながら成長していく存在です。

その歩みを大切にしながら、家庭や地域、学校、保育園等の福祉施設、医療機関、行政、事業者などがつながり、協力し、社会全体でこどもの「育ち」を支えます。

こどもや若者と大人が気軽にに関わり、互いに学び合い、こどもを「まんなか」にその成長を見守ることで、成長の喜びの輪が広がるまちをつくります。

こどもの医療費の助成 【本市負担額】3億6,217万6千円(概算)

高校生年代までの医療費について、引き続き助成を行います。

(自己負担額 未就学児：0 小学生～高校生年代：5,000円)

保育料の負担軽減 【本市負担額】1億2,502万2千円(概算)

認可保育園に通う0歳～2歳児の保育料について、引き続き経済的負担を軽減します。

佐伯高校の魅力化支援 2,492万7千円(前年度 2,559万円)

地域の中学生の進学先確保及び将来の担い手育成のため、地域が一体となって佐伯高等学校の魅力化支援を行っています。

- 公営塾学習支援員報償費等 1,164千円
- 通学費・下宿費・下宿費改修費の補助 一般補助金 21,363千円
- 佐伯高等学校を応援する会への助成 団体補助金 2,400千円

あかちゃんオムツプレゼント事業(母子保健事業) 799万円(前年度 662万1千円)

生後3か月、6か月、9か月、満1歳の計4回、産前産後サポートセンターなどでイベントと子育て相談を開催し、おむつ(2,000円相当)をプレゼントします。

- おむつ代金 743万6千円
- その他経費 55万4千円

5歳児健康診査(相談)(母子保健事業) 372万2千円(前年度 988万4千円)

こどもの発達特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うため、全ての5歳児を対象とした健康診査を実施し、医療機関、保育園、学校等と連携した就学へ向けての支援など必要なサポートを行います。

- 報酬など 58万2千円
- その他経費 314万円

㊦産後の暮らしの応援（母子保健事業） 1,389万5千円

物価高騰の影響を受けている、赤ちゃんが産まれた子育て世帯が安心して産後を過ごせるよう応援手当を支給します。

- 物価高対応産婦応援手当 1,288万円
- その他経費 101万5千円

㊧児童養護施設退所後の支援（児童福祉一般事業） 800万円

児童養護施設退所後の支援を実現するため、市内児童養護施設の退所者が自立に向けたサポートを受けながら、安心して過ごせる環境整備に対して補助を行います。

- 児童養護施設改修事業補助金 800万円

㊨子ども食堂等への支援（児童福祉一般事業） 120万円

子ども食堂等に対し高騰する食材費等の一部を補助することで安定した運営の継続を図り、物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減を目指します。

- 物価高騰対策子ども食堂等支援補助金 120万円

病児・病後児保育の利用を無償化（病児・病後児保育事業）

2,451万6千円（前年度 2,231万8千円）

働く保護者が安心して子育てをできるように、病児保育室を利用するときの年間登録料及び利用料を、引き続き無償化します。

- 病児・病後児保育事業委託料 2,296万8千円
- 病児・病後児保育事業他市町利用負担金、補助金 154万8千円

㊩医療的ケア児の受入枠の拡大（保育園管理運営事業） 313万9千円

医療的ケアを行う訪問看護事業者への委託業務を実施し、小学校入学に向けて居住地域の公立保育園での受入れを実現します。

- 医療的ケア児支援業務委託料 313万9千円

障がい児支援の取組強化（保育園管理運営事業）

238万5千円（前年度 238万5千円）

保育士資格及び公認心理師資格とともに障がい児支援に専門的知識を有する者が、保育園を巡回し、それぞれの障がい児の発達特性に応じた効果的な支援策の助言等を行うことで障がい児の集団での育ちを支援します。

- 保育園巡回指導・相談事業委託料 238万5千円

㊪保育園のICT化の促進（保育園管理運営事業） 800万6千円

公立保育園でのICT化を推進するため、クラス担任に1台のスマートデバイスを配備します。

- スマートデバイス購入費 786万9千円
- その他経費 13万7千円

㊦ こども誰でも通園制度（保育園管理運営事業・私立保育園運営事業） 630万円

保育所等に通っていない0歳6か月～3歳未満のこどもが、月一定時間まで保育施設を利用できる「こども誰でも通園制度」が始まります。

- 消耗品費 284万8千円
- 備品購入費 275万2千円
- 給付費 70万円

㊧ お昼寝用簡易ベッドの導入（保育園管理運営事業）

2,230万3千円（前年度 4,389万円）

計画的に公立保育園へお昼寝用簡易ベッドを導入し、安全、衛生面の向上を図るとともに、大きな布団の持ち運びが不要となることで保護者の負担を軽減します。

- 午睡用ベッド購入費 835万5千円
- 午睡用ベッド導入改修工事 1,394万8千円

㊨ こども園の誘致及び幼稚園の認定こども園化（保育園整備事業） 6億6,520万円

年度途中の待機児童解消、新機能都市開発事業エリア周辺の住宅建設等により起こる新たな保育ニーズへの対応のため、新たに令和9年4月から開園するこども園を誘致するとともに、廿日市東区域の幼稚園の認定こども園化を支援します。

- 私立認定こども園整備事業補助金 4億1,068万8千円
- 民間幼稚園本館改修事業補助金 2億4,915万円
- 民間幼稚園別館トイレ改修事業補助金 536万2千円

「ほいくの未来応援補助金」の実施（私立保育園運営事業）

2,425万円（前年度 3,306万6千円）

私立の認可保育施設における人材の確保と定着が図られるよう、保育士の雇用継続や保育士資格の取得について支援します。

- ほいくの未来応援補助金(新規採用・継続者向け支援) 2,200万円
- 保育士資格取得支援補助金 25万円 ・まちぐるみ子育て支援補助金 200万円

紙おむつ用ゴミ箱の設置（福祉センター管理運営事業・多世代サポートセンター管理運営事業） 23万8千円（前年度 47万6千円）

乳幼児の保護者が多く来所される子育て支援施設に、衛生面に配慮した紙おむつ用ゴミ箱を設置します。

- 使用料 23万8千円

《基本方針②》

こどもが自らの可能性に挑戦し、未来を切り拓くための「生きる力」を育みます

こども一人ひとりが自らの可能性を信じて挑戦し、自己実現を目指すことができるよう、学校・家庭・地域が連携してその成長を支えます。

学校教育においては、知・徳・体（確かな学力、豊かな心、健やかな体）のバランスのとれた学びを推進し、学ぶ意欲や問題発見・解決能力、豊かな創造性を育むとともに、体験活動やスポーツ・文化芸術活動などを通して、失敗を恐れず挑戦する姿勢を大切に、達成感を味わえる機会を充実させます。

また、地域や家庭と協働し、こどもが自ら考え、行動し、未来を切り拓く「生きる力」を育みます。

⑨ こども・若者の意見の反映（児童福祉一般事業） 30万円

こどもの意見表明・聴取の意義等の全職員向けの研修及び市の他イベントと連携したこども・若者の声を聞くワークショップを開催し、より良い施策展開につなげます。

- こども・若者意見聴取・反映推進業務委託料 30万円

部活動の地域展開（学校教育振興一般事業） 596万9千円（前年度 884万7千円）

地域の資源を活用し、生徒の多様なニーズに応じた活動を提供できるよう、部活動の地域展開を進めます。

- 部活動地域展開コーディネーター報酬など 377万6千円
- 地域クラブ活動業務委託料 197万2千円
- その他経費 22万1千円

⑩ 学校給食費の負担軽減（学校給食管理運営事業）

5億2,922万3千円（前年度 7,496万5千円）

栄養豊かでおいしい食事の提供や食育の推進などを通じて、児童生徒の健康状態の改善等に取り組んでいます。このたび、小学校給食費の無償化、中学校給食費の半額支援を実施し、保護者の経済的負担を軽減します。

- 小学校給食費無償化事業負担金 4億1,192万7千円
- 小学校給食食物アレルギー等対応補助金 20万4千円
- 中学校給食費負担軽減事業負担金 1億1,709万2千円

安心な教育環境の充実（小・中学校 ICT 活用教育推進事業）

901万4千円（前年度 395万1千円）

屋内運動場(体育館)での授業に ICT 技術を活用するため、順次、各学校に無線アクセスポイントを整備していきます。

- 阿品台東小学校屋内運動場新教育系ネットワーク無線アクセスポイント設定等業務委託料 28万6千円
- 阿品台東小学校屋内運動場新教育系ネットワーク無線アクセスポイント設置工事 310万円
- 廿日市中学校屋内運動場新教育系ネットワーク無線アクセスポイント設定等業務委託料 28万6千円
- 廿日市中学校屋内運動場新教育系ネットワーク無線アクセスポイント設置工事 534万2千円

小・中学校のリニューアル（小学校リニューアル事業・中学校リニューアル事業）

8億6,518万6千円（前年度 11億1,689万9千円）

小中学校施設の安全・安心な教育環境を確保するため、必要となる各種調査・設計業務、老朽化対策工事を実施します。

- 小学校リニューアル事業 4億6,939万8千円
- 中学校リニューアル事業 3億9,678万8千円

⑨小・中学校空調設備整備事業 9,936万3千円

学校活動中の熱中症リスクの軽減及び避難所としての快適性を確保するため、屋内運動場への空調整備に取り組みます。

- 原小学校屋内運動場空調設備整備工事実施設計業務委託料 343万8千円
- 佐方小学校屋内運動場空調設備整備工事 6,620万3千円(補正)
- 廿日市市立中学校屋内運動場空調設備整備工事実施設計業務委託料 2,972万2千円

奨学金の貸付け（奨学金貸付事業） 1,272万円（前年度 5,832万円）

将来の社会の創り手となる人達が希望に沿って安心して就学できるよう、奨学金の貸付けを行います。

- 奨学金貸付金 1,272万円

⑩姉妹都市に派遣した青少年等の活動の支援（国際交流事業） 7万7千円

令和7年度に姉妹都市マスタートンへ派遣した青少年を中心とした「(仮称)経験者の会」が行う国際交流や多文化共生推進のための活動を支援します。

- 青少年派遣経験者の会活動支援業務委託料 7万7千円

《基本方針③》

「いのち」を大切に、他者を思いやる心を育みます

すべての人が自他の「いのち」を尊び、他者を思いやる心をもって生きることは、豊かな人間関係と共生社会の基盤です。

市民一人ひとりが、自らをかけがえのない存在として尊重するとともに、性別や年齢、国籍、人種、文化、価値観といった異なる特性を認め合い、自他を大切にする心を育む取組を進めます。

学校教育においては、こどもたちが互いに関わり合う体験活動を積極的に取り入れるとともに、道徳教育を一層推進し、いのちの大切さや人権尊重の精神を学ぶ機会を広げます。また、地域においても、ゲートキーパーの養成や人権啓発などを通して、まち全体でいのちを大切にする心を育みます。

こうした取組を通じて、一人ひとりが安心して自分らしく生き、他者と支え合う社会を目指します。

※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声を掛け、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。

⑧こどもを支える環境づくり（不登校総合対策事業）

2億3,222万1千円（前年度 1億9,379万8千円）

児童生徒の心の変化を把握するためのアプリを導入するとともに、引き続き子どもつながり支援員を配置します。

- 心の健康観察アプリ使用料 607万2千円
- 子どもつながり支援員等報酬など 2億2,614万9千円

いじめ対策・未然防止（学校教育振興一般事業）

3,992万9千円（前年度 3,767万5千円）

生徒指導指導員、生徒指導相談員、特別支援教育アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等専門家の支援を受け、相談体制を充実させるとともに、いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会を活用し、いじめへの適切な対応とともに、いじめの未然防止に努めます。

- いじめ問題対策連絡協議会委員報酬 49千円
- いじめ防止対策委員会委員報酬 140千円
- 特別支援教育アドバイザー報酬(1名) 4,907千円
- 特別支援教育学校支援業務委託料 13,462千円
- スクールカウンセラー報酬 207千円
- スクールソーシャルワーカー報酬 9,323千円
- 生徒指導指導員等報酬 5,550千円
- 期末手当外 6,291千円

《基本方針④》

生涯にわたる「学び」を実現します

こどもから大人まで、市民一人ひとりが自発的に、人生のあらゆる段階で自らの興味や関心に応じて学び続けられる社会の実現に取り組みます。

廿日市市ならではのスポーツ・文化芸術などの地域資源を生かして、仕事や生活を通じた多様な学びの機会を提供し、ワクワクする学びの体験を広げます。

また、学んだことを地域や生活の中で生かすことで、人や地域社会に貢献し、満足感や達成感、充実感を味わい、幸せを実感することができます。こうした学びの喜びやつながりが、さらなる学びの意欲を育み、生涯にわたり学び続ける社会を支えます。

誰もが身近で多彩な学びに触れ、学びが暮らしや地域に自然と息づく中で、それぞれが自分らしく、心豊かな人生を送ることのできるまちを目指します。

学びの環境づくり（生涯学習推進事業） 124万円

多様な学びの機会の提供や学びを活動に生かす機会の充実などに取り組みます。

- 生涯学習ビジョン推進業務等委託料 124万円

⑨文化芸術振興計画の策定（文化振興事業）

文化芸術の推進に向けた本市の将来ビジョンや方向性について調査研究を行います。

- 文化芸術振興計画策定支援業務委託料 ※債務負担行為 923万9千円

⑩原市民センターをリニューアルします（市民センターリニューアル事業）

1億1,058万7千円

原市民センターにエレベーターを設置し、トイレ等の内部改修及び外壁、屋根改修工事を行います。

- 原市民センターリニューアル及びエレベーター設置工事 1億817万6千円
[債務負担行為（R9）162,171千円]
- 原市民センターリニューアル及びエレベーター設置工事監理業務
[債務負担行為（R8-9）5,142千円]
- その他関連業務等 241万1千円

女子野球タウンの推進（スポーツ推進事業） 3,000万円（前年度 3,000万円）

メディアを活用したプロモーション事業を実施することで、女子野球タウンの取り組みの認知度向上を図るとともに、女子野球の裾野拡大などを目指します。

- 女子野球タウンフェスティバル開催業務委託料 3,000万円

《基本方針⑤》

地域を知り、守り、活かし、伝え、ふるさとを未来へつなぎます

廿日市市は、豊かな自然と長い歴史の中で育まれた文化、産業、そして人々の営みが調和するまちです。

世界遺産「厳島神社」を有する宮島など、市内各地域には、古代からの歴史的遺産、伝統行事、地域文化、そして美しい自然環境など、ふるさとを形づくる多様な地域資源が息づいています。

私たちは、これらの地域の宝を知り、その価値を理解したうえで、守り、活かし、次の世代へと伝えていくことを大切にします。

学校教育や地域の学習活動では、歴史、文化、自然、産業といった多様な地域資源にふれる体験を充実させ、市民一人ひとりの地域への誇りと愛着を育て、かけがえのない宝を次世代へつないでいきます。

ふるさと学習事業 44万3千円（前年度 44万3千円）

小・中学校の児童生徒が、魅力ある郷土の歴史や文化をはじめ、先人の努力や知恵を学ぶことや、郷土を素材とした体験的な活動を通して、課題を自ら見だし、協働して探究活動に取り組む態度を育てるとともに、「ふるさと廿日市」への愛着と誇り育てます。

- 講師謝金 22万7千円
- その他経費 21万6千円

㊦埋蔵文化財の価値の発信（埋蔵文化財発掘調査事業） 216万円

冠遺跡群や向原石畳などの特徴的な埋蔵文化財の調査を進め、その価値の発信に取り組みます。

- 埋蔵文化財啓発資料等作製業務委託料 43万6千円
- 埋蔵文化財説明板作製業務委託料 139万7千円
- その他経費 32万7千円

㊦宮島の伝統的建造物群保存地区の保存の推進（伝統的建造物群保存推進事業）

6,270万7千円

伝統的建造物の保存・修理に関する補助を実施し、重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的町並みを次代に継承します。

- 伝統的建造物群保存地区保存事業補助金 5,135万円
- 伝統的建造物(旧若狭家)公開施設整備実施設計業務委託料 903万7千円
- 伝統的建造物群保存地区建物耐震性調査研究業務委託料 93万5千円
- 伝統的建造物群保存地区建物調査業務委託料 58万5千円
- 伝統的建造物群保存地区基礎調査研究業務委託料 50万円
- 歴史的町並み保全活動補助金 30万円

(仮称)宮島ミュージアム整備に向けた取組 (宮島歴史民俗資料館整備事業)

1,212万3千円 (前年度 2,226万2千円)

宮島の歴史文化や産業の歴史を学び、将来に伝える役割を担う「(仮称)宮島ミュージアム」の整備に向けた取り組みを進めます。

- 宮島歴史民俗資料館等整備に係る官民連携事業アドバイザー業務委託料 1,174万8千円
- その他経費 37万5千円

㊦宮島の歴史編さん事業 (宮島の歴史編さん事業) 689万4千円

宮島の積み重ねた歴史とその価値を守り、正しく継承していくため、体制強化を図りながら、資料調査及び収集資料等のデジタル化に取り組み、「宮島の歴史」を編さんしていきます。

- 収蔵資料調査業務委託料 355万8千円
- 資料調査フィルムデジタル化業務委託料 85万1千円
- その他経費 248万5千円

㊧世界遺産登録30周年記念事業 5,000万円

令和8年は、厳島神社が世界遺産に登録されて30周年を迎えます。

国内外から500万人近くの人々が訪れる宮島を持続可能な観光地として後世に継承するため、世界遺産登録30周年を記念した様々な事業を通じて、宮島の普遍的価値をはじめ、宮島の自然・歴史・文化・歴史的な意義と価値を理解し、深めるとともに、宮島の魅力を国内外に向けて発信します。

- 世界遺産登録30周年記念事業実行委員会負担金 1,250万円
- 厳島神社世界遺産登録30周年記念事業実行委員会負担金 1,250万千円
- フランスプロモーション業務委託料 2,500万円